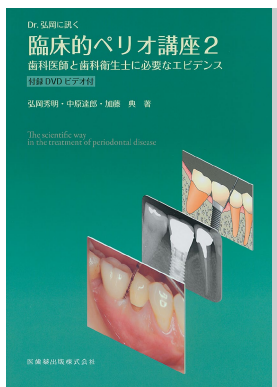




弘岡秀明・中原達郎・加藤 典 著

Dr. 弘岡に訊く **臨床的ペリオ講座 2**
歯科医師と歯科衛生士に必要なエビデンス
付録 DVD ビデオ付

フリーランス
加藤久子（歯科衛生士）



B5判/184頁
定価(本体6,500円+税)
医歯薬出版
(2013年7月)

歯周病患者さんを見るとき，“いまの処置内容が患者さんにとって本当に最適な方法なのだろうか？”と考えている歯科衛生士は多いのではないのでしょうか？私が教育を受けた米国の大学では、つねに論文に基づいて授業が進みます。経験則のみに基づくのではなく、研究者が出した論文、科学的根拠に基づいた方法論やテクニック、治療効果などを学ぶことで、根拠ある医療を提供する、という教育がなされています。その論文もエビデンスレベルに基づいて判断し、取捨選択されます。歯周治療の基本を理解することができれば、“自分が行っている処置にはどのような意味があるのか”，“患者さんの口腔内に問題が起きた際どのように対処すべきか”等を理解することができるようになります。

著者の弘岡秀明先生は、スウェーデン・イエテボリ大学歯学部歯周病科大学院を修了されており、海外で“常識”であるエビデンスに基づいた歯科治療を日本の歯科衛生士にも根づかせたいという気持ちが強いと思います。

本書では、歯周治療に関するベーシックな質問に対する解説とともに、関連する海外論

文が掲載されており、理論と臨床を結びつけた実践的内容となっています。また、これらのエビデンスが弘岡先生の症例をもとに解説されているのも新鮮な点です。症例からは、著者の医院において、歯周治療が高いレベルで行われていることがわかります。

本書には、新人歯科衛生士が日常臨床で遭遇する疑問へのアドバイスはもちろん、ベテラン歯科衛生士が自らの日常臨床を振り返るための定義や論文が、豊富な写真やイラスト、適切な図を交えてわかりやすく説明されています。また、各項目に設けられている「ワンポイントアドバイス」「クリニカルアドバイス」は、読者の理解を助けます。

第1章から第5章まで、どの章も歯科衛生士に必要な、学ぶべき内容です。第1章は、初期治療から歯周外科処置についての知識に触れてあります。第2章は患者さんへの説明に役に立つ項目です。特に「全身疾患と歯周病」、「歯周病と喫煙」は、図やイラストを患者さんに示すことで理解が深まります。第3章は歯周病患者へのインプラント治療や、歯科衛生士に身近なインプラントへのプロローピング、インプラント周囲炎についての文献が収載されています。さらに、第4章には、歯科衛生士が本領を発揮するサポートィブペリオドンタルセラピー（SPT）までもが網羅されています。

本書を読み、さらに付録DVDを見ることでより知識を深めることができます。歯周治療について学びたいと考えている新人歯科衛生士から、論文の知識を増やしたいと考える歯科衛生士の方まで、読み応えのある好著です。